

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念の基、同法人内3つのグループホーム共通の理念が掲げられているが、その理念を実現するために当事業所で大切にしたいケアの方向性を決めて実践することが望まれる。	グループホーム上桂として、大切にしたいケアの理念を決め、実践に繋げる取り組みを行う。	①各職員からグループホーム上桂として実現したいケア(生活の場としてどのような環境やケアが提供したいか等)の具体的な行動目標を聴き取り、方向性をまとめる。 ②まとまった理念を職員室に掲げ、各職員で日々確認し合う。	3 ヶ月
2	35	非常災害対策において、地域との協力体制が構築できていない。	非常災害時に地域と協力し連携できる関係作りを行う。	①町内会の加入を行う。 ②地域の催し物に積極的に参加させていただき、徐々に交流を深める。 ③運営推進会議で相談し、地域の災害訓練に参加させていただく機会を得る。 ④事業所の訓練時に地域住民の方にも参加の声掛けを行う。	12 ヶ月
3	27	職員個々の思いはあるが、統一できていない面が多々ある。思いを伝える機会や話し合う機会が少ない。	生活の場として、グループホームに必要なケアの在り方を再確認し、ご入居者個々に必要なケアの方向性を定める。	①職員会議の在り方を考え、職員が一同で話すことのできる機会を持つ。また、参加できない職員へも意見を小まめに聞き取り、一人一人が思いを伝えられる雰囲気づくりを行う。 ②日常のケアに関する疑問や意見を書くノートも活用しているため、早期に解決、実践できるように職員個々へアプローチ、コミュニケーションを図ることで進めていく。 ③疑問や課題となることを収集し、勉強会や研修を行うことで個々が解決の糸口を見つけられる引き出しを持つ。そのことによって、意見交換の活性化を図る。	6 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。